

新保健施設等複合施設建設に当たってのアンケートのお願い

墨田区ではこの度、健康や子育てに関わる問題に対して多角的・効率的に対応し、施設利用における利便性を向上させるため、保健・子育て・教育の関連する機能を統合・集約した「新保健施設等複合施設」（令和5年度開設予定）の整備を進めています。今回、皆様のご意見を踏まえ、新しい施設をより利用しやすいものとするため、アンケートを実施いたします。是非、ご協力ください。

【期限：8月21日(金)まで】

<アンケート回答ページ> QRコードを読み取っていただくと、そのままアンケートの回答ページに移動することができます。

http://www.city.sumida.lg.jp/kenko_fukushi/kenko/new-hokensisetu/shinhokenshisetsu.html



■新保健施設の構成イメージ

コンセプト

つなぐ・つながる

コンセプトを構成する3つの要素

① 「人と人」

- ・各専門窓口案内する総合窓口
- ・乳幼児健診やその他利用者が交流できる環境や、憩いの場としての区民ラウンジ等

② 「情報」

- ・複数の部署が連携できる共用相談室やカンファレンスルーム
- ・データヘルスの拠点としての、健康情報の集約化と活用

③ 「安全」

- ・見通しの良さとプライバシーの確保
- ・多様な人々に対応するユニバーサルデザイン
- ・災害時の拠点として、災害や新たな感染症にも柔軟に対応

■施設概要

4階

子育て支援総合センター(交流室エリア、相談室・観察室エリア、執務室エリア)、保健所(検査室エリア)等

3階

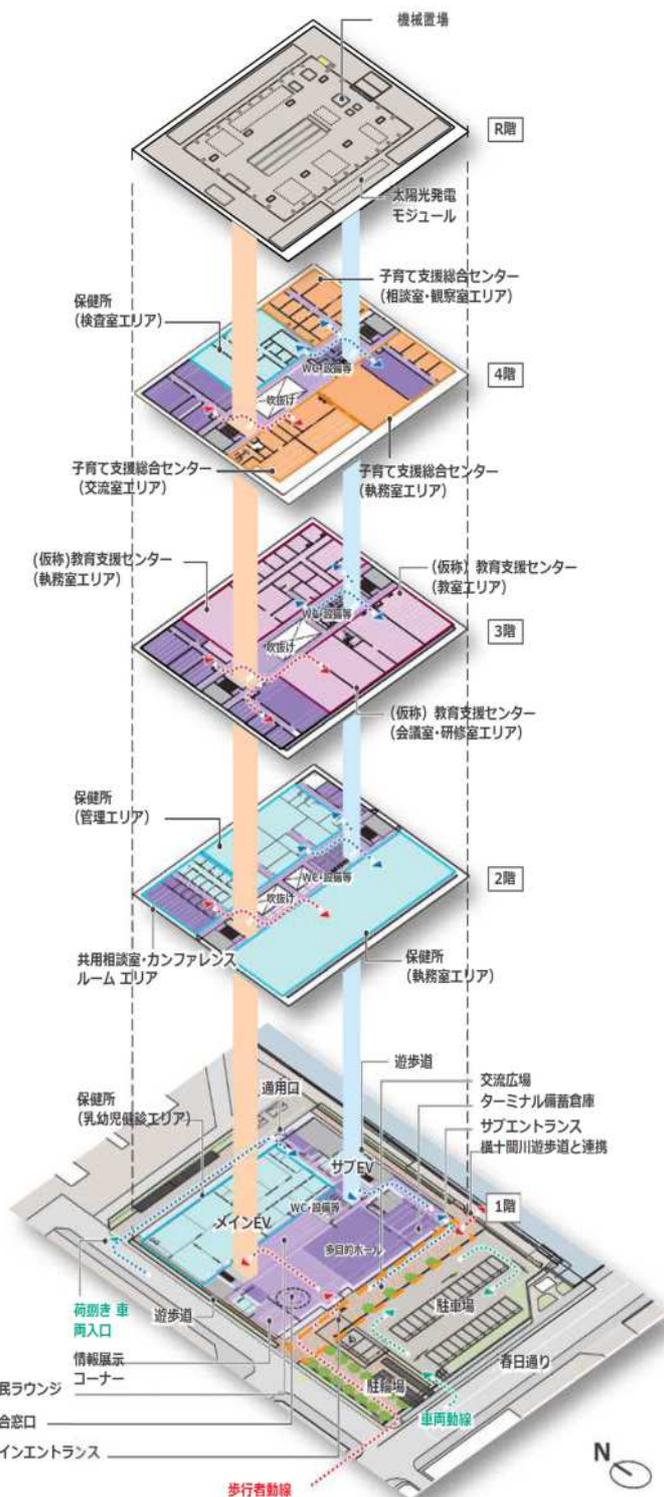
(仮称)教育支援センター(教室エリア、会議室・研修室エリア、執務室エリア)等

2階

保健所(執務室エリア、管理エリア)、共用相談室・カンファレンスルームエリア等

1階

保健所(乳幼児健診エリア)、ターミナル備蓄倉庫、多目的ホール、総合窓口等



～新保健施設等複合施設について～

Q どこにできるの？

- A 墨田区横川五丁目7番です。
- ・押上駅から徒歩8分程度
 - ・都営バス「横川三丁目」から徒歩4分程度
 - ・区内循環バス南部コース
「本所警察署・本所防災館入口」から徒歩3分程度



Q なぜこのような複合施設を整備するの？

- A 区民の健康への関心度が高まっている中、向島・本所の両保健センターは老朽化が進行し、設備が不足するなど、安全性や利便性の面が課題となっています。また、「健康」に関わる問題は、保健所のほかにも子育てや教育などの分野が関係することも多く、より幅広く区民の健康を推進するためには、関係機関の連携の強化が必要となります。このことから、平成28年6月策定の「墨田区基本計画」において新保健センター等複合施設の方向性を示し、同29年9月に「墨田区新保健センター等複合施設整備基本計画」を策定し、複合施設の整備を進めることとしました。

Q 施設が集約されることで、アクセス面で不便になるのでは？

- A 新施設へのアクセスには、公共交通機関をご利用いただけるほか、自動車や自転車のご利用も想定し、新施設には駐車・駐輪スペースについても整備をする計画としています。

Q なぜ保健所・子育て・教育の3つの機能が集約されるの？

- A 新施設は、保健所を核としながら**関係する機能が連携することで、区民サービスの向上を図ることを**目指しています。そのため、**区内全域を対象とする、いわゆる「基幹」となる機能**として、保健所のほかにも**「子育て支援機能」、「教育支援機能」**を複合化することとしました。
- また、子育て、教育のほかにも、庁舎内の福祉部門や地域とも連携し、医療・福祉・介護が連携した支援体制を構築していくこととしています。

Q 新施設には、どのような機能（施設）が入るの？

- A 主に以下の機能（施設）が入ります。

保健所

乳幼児健診や健康相談などの保健事業のほか、各種疾病の予防、衛生教育、医療費助成等のサービス業務、食品衛生や環境衛生の監視、指導、取締り、許認可等の事務を行っています。

区役所内に設置している保健計画課、生活衛生課、保健予防課と、向島保健センター及び本所保健センターを新施設に統合します。

子育て支援総合センター

在宅での子育てを支援する拠点施設として、子育て支援サービスの提供・調整、総合相談等の総合的な子育て支援事業を行っています。また、将来的には児童相談所機能を入れることを想定しており、一層の機能強化を図ります。

（仮称）教育支援センター

不登校や問題行動・子育てに関することなど、多様化する健全育成上の課題に対して、相談・支援の機能を一元化するとともに、早期のきめ細やかな対応を通じて、総合的に課題解決を図ることをねらいとした施設です。

また、教員の研修や研究のマネジメントなど、教員の資質能力の向上に関する業務も行い、学力向上等を目指します。

Q 複合化されることで、どのようなことが便利になるの？

- A 機能が複合化されることにより、例えば以下のようなことが便利になります。

- ・相談の内容や抱えている問題が様々な部署にまたがる場合でも、同じ施設の中でスムーズに相談することができます。
- ・健診や面接に来た際、交流ラウンジ等で同じような立場の利用者と交流を図ることができます。
- ・子どもの発達や就学などで、他の部署にいる様々な専門職や担当職員にその場で相談することができます。
- ・災害時の医療活動の拠点として、医療機関との連携や備蓄物資の分配等を通じて区民の安全・安心につなげます。

【アンケートに関する問合せ先】

墨田区福祉保健部保健衛生担当保健計画課 新保健施設等開設準備担当

電話：03-5608-6189